

東大大気海洋研究所、津田 敦所長殿、

課題: **気候科学者の事実世界表明こそが先決だ!!! (2回目 mail)、**

所長挨拶

大気海洋研究所の将来

東京大学大気海洋研究所・所長 津田敦

大気海洋研究所では、海洋と大気およびそこに暮らす生物の複雑なメカニズム、そして地球の誕生から現在に至るこれらの進化と変動のドラマを解き明かし、**人類と地球環境の未来**を考えるための科学的基盤 を与えることを目的として研究を進めています。

納税動作する国立研究機関使命は必然的に納税者奉仕= 気候科学真相を表明する事です、
科学者基本使命は科学真実を納税者に公開する事、然るに鈴木の世界気候科学界情勢を調べて得た結論は裏切りです、**真実を言うには余りにも今の資本主義商売体制に不都合すぎる、真実を言えば以下(1)(2)の**実質世界革命**が不可避だから、他にも北極海氷層減少が既にアルベド**正帰還**にあり、もはや手遅れと言うに見解は**北極冷却工学不可能**とすれば確かに正しいです。**80%CO2 削減実行不可能**という見解も現状からすれば最もと異技労得ないのも事実でしょう**
だが以上 2 個の問題は科学者業務でなく、実は**技術者業務**になる、それに関して可能と主張する勢力も存在するのです。歴史真相を言えば EXXON-MOBIL-IPCC の陰謀に(気候科学)世界は**大規模に意識無意識(集団同調麻痺)裏支配**されてる。

* the 石油屋正体は米帝王 Rockefeller、軍産複合体 CIA のご主人でもある。有力大統領候補 H.Clinton は Rockefeller の筆頭お上！、

救済可能性があるのに、それをつぶしてるのは過去 20 年の気候科学者姿勢です!!!。

そもかんがえてみてください、これは死か、生き延びるかの究極問題、気候科学者 & 為政者のみが密室で決定できる性質で無いのです。ぜひ、逃げる事無く、真正面からの議論を切望します。
現日本国内は地震問題に明け暮れだが、究 極は気候破滅回避優先性**は明々白々、**気候凶暴化真相**を世界隠蔽する為にシリア中東戦争 & 欧州テロ等が米裏軍隊により演出されてます。**
米国 & 欧州日本の警察国家化**も将来の気候変動世界での大衆抑圧(既成体制護持)ためだけに陰謀されてるのです。**

議論目的のもう一つは鈴木見解の事実確認、気候科学者から気候科学認識誤りを指摘されれば見解修正に応じます。勝手ながら押しかけで近日再度大気海洋研究所で訪問会談希望します。

過去 mail: 3/11 日押しかけ訪問に大気海洋研へ、幸い喫煙所で一科学者と気候科学社会事情
周辺の会談できました。

(1) CO2-80%削減策でなければ温度回復が無い事を認めてます。

(2) 北極メタン危機を認めてます。

(3) 然るに世界は度重なる会合を経ても **1%すら削減も成功していない**と指摘
= **其の通り逆さまの増大一途**です！！。

見解を異にしたのは以下(4)(5)です。

(4) **手遅れ**との認識も→**正帰還 阻止すれば回避可能**→**主要因**=北極海氷
層減少を北極冷却工学で阻止！

<http://www.777true.net/How-to-Make-Clouds-for-Intercept-solar-heat-in-Arctic.pdf>

(5) 気候科学者の事実世界表明こそが**緊急先決だ！！**

この議論(其の外の以下等の技術的詳細問題)をつめるべく再訪問希望、ぜひ日程をお願いします。

<http://www.777true.net/Nothing-scientists-declaration-on-deadly-climate-facts-has-been-intercepting-the-salvation.pdf>

<http://www.777true.net/The-Ensemble-Synchronized-Paralyzing.pdf>

科学者世界真相声明=医者診断であり政策決定者～国民も事実に沿わねばならないから、

* なぜこうならなかったかの経緯は EXXON-MOBIL=石油屋にして世界帝王
Rockefeller の世界的組織陰謀。

**True small story of The Climate now having become terribly stupid, but
terrific !!.**

Once upon a time America, there was an oil merchant, who sold and sold oil to accomplish
his monopoly in America with motorization at that time. Soon he had become emperor, not
only for America, but the world. Now he had won unprecedented power against the world. In
mankind history, from behind, by his outrageous wealth power, he has been ruling negotiating
organizations as governments, united nation, many international private organization, and
violenical orgnizations military industry complex with CIA.

However he did a fatal mistake so called climate change due to massive oil consumption.
In 1980, his research laboratory noticed the fact and they insidiously decided to hide. However
such big event could not hide by any means in the actuality. The problem is outrageously too
terrific as mankind extinction, as for which once again they had made deadly decision to

hide.As the consequence,insidious global climate hiding operation begun to go on.
The terrific influence at now had refered to mass media,education and research institutions,
and the business and political-administration societies in every fields the world wide.In
fact,effective climate mending needs global regime conversion from business as usual.
Revolution is more terrible than defeating war.This is nothing,but mad rulers mind at now.
<http://www.777true.net/It-is-us-who-are-on-the-GermanWings-Airbus-A320-whose-door-is-firmly-locked.pdf>
<http://www.777true.net/The-Rockefeller-File.pdf>

最新の筆者総合報告：

http://www.777true.net/Do-or-Die_Mending-on-Deadly-Climate_the-Problem-Solution-Reaction.pdf

http://www.777true.net/Q-A_Die-or-Do_Mending-the-Deadly-Climate_the-Problem-Solution-Reaction.pdf

*もう気候対処は手遅れの陰謀風言が世界の関係者や一般人をまことしやか陰険に闊歩！？、
集団同調麻痺の機構も働いて真実確認を忌避、**時間ガ切迫は事実！！**、

2016/3/9-mail

過去8年素人ながらも気候科学に関与してきましたが、現状は著しく危篤状態といえるでしょう。過去に以下メールをお願いしましたが、残念ながら回答いただけませんでした。**いずれも現実気候科学の切実問題であることは否定されたいと思います**。近日柏キャンパスに用ありで出向予定、突然ながら訪問をお許しくださるようお願いいたします。予定を指定いただければ一層ありがたいのですが、ほかにも相談事多数抱えております。典型が北極冷却工学の実証実験ですが、

過去メール(2015/11/27)

地球平均値から地域分布を推定する逆問題、0次元模型の高精度化！！

自分は過去に流体方程式解を一度もといたことがない(解けない!)門外屋でしたが、理由あって方程式成立の物理背景とカオス原因の物理過程を解析しました。問題となるカオス解性は移動微分に元づく**非線形性**でなく、あの2階偏微分項、 $\nabla^2 A = \text{grad}(\text{div}A) - \text{curlcurl}A$ 。

右辺第一項は噴出し(風船出口とか火山噴火)、第二項は流体2面ずれ摩擦(面かき混ぜとか地震層ずれ)に対応して、摩擦的ですから**力学エネルギーが熱化=非力学-熱力学不可逆過程**に相当します、エントロピ増大=情報喪失！！です、

http://www.777true.net/Information-Loss-Process-in-NS-Equation_The-Cause-of-Chaos.pdf

自分はアンサンブルアベレージの根拠原理は知りませんが、?!、流体方程式は時間空間スケール不変性があり、空間精度を殺せば長期解になるが。数年期間予測だと地球が点化しますく**0次元模型の高精度化！！**、これでは地域予測は不可能で、そこで自分はある時刻の**地球平均値から地域分布を推定する逆問題**を提案してます。

こういうのは**統計物理屋**が“原理論”では得意なはずですが、だが地球地域事情とは無縁だ ろうと思います。彼らとも共同相談お勧め申し上げます。長期予測は世界的重大問題です。国内だけでなく世界にも相談お願いします。

過去メール(2015/12/21)

炭素排出シナリオ (A=2050 年 までに 80%;B=2020 年までに 80%) と地球平均温度推移の simulation 専門家論文を探しています。もし特に**後者**をご存知ならば至急教えてください。

世界配信の筆者鈴木**の総合情報参照サイト**は以下、

http://www.777true.net/Do-or-Die_Mending-on-Deadly-Climate_the-Problem-Solution-Reaction.pdf

http://www.777true.net/Q-A_Die-or-Do_Mending-the-Deadly-Climate_the-Problem-Solution-Reaction.pdf

gutvv1@dc4.so-net.ne.jp

<http://www.777true.net/>

tel 046-843-2271

Workshop on Contemporary Issues and B Wave Technology

editor:motoji-SUZUKI、

〒239-0813,1-2-5,Kamoi,Yokosuka-city,Kanagawa,Japan.

神奈川県横須賀市鴨居 1 - 2 - 5 鈴木基司